

### 急激な気候変動について

台風19号の巨大化は、海面水温の高さに加え、海洋内部の貯蓄熱も関係していました。これまでは台風が海水をひっかき回せば水温が低くなるのに、海の中まで水温が高いせいで雨台風がさらに発達し、甚大な被害に及んだのです。決壊した河川は、北陸新幹線が浸水した千曲川を初め7県71河川に及びました。また、昨年、被災地域が33道府県に及んだ西日本豪雨での被害総額が1兆1,000億円に達したと報道されています。我が国のこれらの近年の自然災害の大型化に対する市長の思いを、また、SDGsに取り組んでいる金沢市として、さらにその

動きを、全市、全市民的に広げるためにも非常事態宣言を出すことについて質問しました。

#### 〔市長の答弁〕

強い危機感を持っている。非常事態宣言云々よりも、まずは、国の地球温暖化対策計画や本市の低炭素都市づくり行動計画に掲げる温室効果ガスの排出抑制に向けた施策を着実に実践していきたい。

### 森林環境譲与税の使途と持続可能な森林政策について

本年9月に千葉県を中心に大きな被害をもたらした台風15号が、溝腐病にかかった杉の放置人工林を大量になぎ倒し、停電復旧の大きな妨げになったことは記憶にも新しい恐るべき被害です。これらの状況を踏まえ、持続可能な森林政策と、森林環境譲与税の明確な使途についてお聞かせください。



▲北陸中日新聞朝刊(2019.10.5)

北國新聞朝刊(2021.10.5)▼



#### 〔教育長の答弁〕

増加傾向の不登校児童・生徒に対して、適応指導教室、心と学びの支援員などによる支援を初め、さまざまな対策を講じているが、子どもたちの必要とする学びを提供するためにも、民間団体等との連携は避けて通れない。まずは、民間団体等との情報共有を図りながら、一つ一つ課題の解消に向けてしっかりと取り組んでまいります。また、不登校となった場合、児童・生徒や保護者等がさまざまな情報を得やすくすることは大変重要なことであると考えている。今回設置する連絡会の中で、情報提供についても重要なテーマとしていきたい

#### 〔市長の答弁〕

森林環境譲与税の使い道について、この創設を機に、森林保有者や林業関係者はもちろんのこと、全国的なネットワークの中で実績を上げていらっしゃる市民団体の方も入っていただきながら、市民の御意見もお聞きするという検討会を設置する。その中で効果的な活用策というものも率直に御議論いただき、政策の中で反映することによって持続可能な森林の維持管理に積極的に取り組んでいきたい。

### 不登校児童・生徒を支援する連絡会についての質問

金沢市の駅西、泉野、元町の福祉健康センターの窓口に、市内フリースクールや、居場所の情報が掲載されたチラシがあります。元町の福祉健康センターの職員さんが、不登校児童・生徒の問題に関心をもち、情報が必要な方に気軽にアクセスできるよう、みずからチラシをつくり、さりげなく窓口に置かれていたのです。すばらしい職員さんの行動に敬意を表します。フリースクールに通う際、小中から通う場合は、ほぼ全員が最終的にそれぞれの方向性で社会適応できますが、高校から通う場合は社会適応できない割合が高いと聞きました。選択肢の多様性と早期アクセス、いち早い情報提供が重要です。連絡会立ち上げの思いと合わせてお尋ねしました。

### ◎12月議会のその他の質問

第6期ごみ処理基本計画について／市内文化施設の祝日における65歳以上の入館料の周知について／学校図書館司書の増員について  
犀桜小学校のプレハブ教室の化学物質について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。



# くまのもりお通信 Vol.08 2020.Mar

熊森協会石川支部の皆さんといしかわ若手議員の会金沢市議の皆さんで森林環境譲与税についての予算要望を提出しました。

皆様からのご意見、心よりお待ちしております。

info@kumanomorio.com

くまのもりお事務所

TEL.076-256-3757 FAX.076-256-3836

金沢市みどり2-6-2 〈自宅〉金沢市松村7丁目36-13

発行/金沢市議会議員 熊野盛夫

金沢市役所〈創生かなざわ〉

TEL.076-220-2448 FAX.076-223-0116

金沢市広坂1-1-1

HP随時更新!→ <http://kumanomorio.com>



### 気候変動対策と教育の課題、障がい者雇用促進

2期目に入り、力を入れてきたのは、まず、世界的な課題でもある気候変動対策。その中でも、森林環境譲与税が始まることも受けて、持続可能な森林政策と資源回収を中心に捉えたごみ問題。

そして、教育の課題について。特に、ゲーム障害と、不登校児童生徒の対策です。ゲーム障害は、世界的にも大きな課題となっていますが、その危険性についての認識がまだまだ広がっていません。そして、県内で、フリースクールを20年を超えて運営される方から「小中の頃からのフリースクール生は、最終的に、ほぼ100%社会適応できているが、高校時からのフリースクール生では、適応率が落ちる」というお話をお聞きしたときは衝撃的でした。まさに先送りできない課題です。金沢市も積極的に取り組むSDGsにおいても、「誰ひとり取り残さない」ことが謳われています。この視点に立った施策が必要です。

3つ目は、障がい者雇用促進です。所属した総務常任委員会でも積極的にこの問題を取り上げ、大きく前進しました。次は視覚障がい者の雇用の対策が課題になると考えています。

さらに、取り組むべきことが山積する金沢市政ですが、皆様とともに考え、行動してまいります。今後とも、皆様からのご意見、ご要望等、お気軽にお寄せください。心よりお待ちしております。



金沢市議会議員 熊野盛夫

### 令和元年度 金沢市議会 6月定例会月議会

### 子どもソーシャルワーカーについて

金沢市は、今年度より福祉局内にこども未来部を創設し、子育て支援課、保育幼稚園課、子ども総合相談センターの3課を一元化して子ども施策にあたることにしました。そして、目玉として虐待の早期発見、貧困世帯の支援相談体制の充実のため、子どもソーシャルワーカーを新設しましたが、その詳細な目的、ソーシャルワーカーの処遇について、当初予定の2名で金沢市内全域をカバーできるのか、など質問しました。



#### 〔市長の答弁〕

貧困対策基本計画に基づき、子どもソーシャルワーカーを設置した。学校、保育施設を定期的に訪問し、生活上課題のある子どもを発見した場合、その家庭に向向き、相談を受けながら必要な支援につなげていくことが主な役割。増員については、実際の活動の状況を見極めた上で検討していく。児童家庭相談室や子ども総合相談センターなどのバックアップ体制を築き、個々の相談に対応できる体制を築いていきたい。

## ゲーム障害について

スマホなどのゲームにのめり込んで日常生活に支障をきたすゲーム依存症が、世界保健機関（WHO）にて、ギャンブル依存症などと同じ、治療が必要な精神疾患に分類されました。ゲーム依存は、睡眠障害、注意力・遂行能力の低下、意思決定の異常、うつ状態、社会的機能の低下などをもたらします。世界最大のゲーム生産国の中国、そして韓国でも、子どもたちの利用に規制をかけています。市としての現状把握、市が推進するeスポーツとの整合性について質問しました。



〔市長の答弁〕  
今年度分からゲーム障害に関する相談実績を国に報告することになった。これに伴い、各福祉健康センターにおいて、該当する相談内容、件数の把握に努めていく。WHOの疾患認定により、今後はゲーム障害の原因、有効な予防策も確立されていくと思われる。それらの動向に注視し、情報収集し、呼応できるものはしっかりと呼応していきたい。本市のeスポーツ金沢モデルの目指すところは、創造力豊かな人材の育成、企業の集積を通じ、新たな成長産業の創出につなげることであり、そのためにも、eスポーツの普及と健全な発展に向けた環境整備に取り組むことが重要であると考えている。

## 障がい者雇用について

昨年8月、全国的に国、県、市において、しょうがい者雇用の水増し問題が発覚しました。本市のしょうがい者雇用についての基本的な考え方、法定雇用率の現状、今後の方針やスケジュールについて質問しました。



〔総務局長の答弁〕  
平成31年4月に身体の障害のある方1人を採用しましたが、市長部局において、基準日となる6月1日現在、法定雇用率を下回る見込みです。

〔市長の答弁〕  
公務員として任用することになり、地方公務員法により、能力の実証に基づいて行う必要がある。何より障害のある方が職業生活において、能力を発揮する機会を有することが大切であり、市としてできる限り就労の場を提供していくことが求められると認識している。今後は、法定雇用率の達成に向け、正規職員の採用試験において、身体に障害のある方だけでなく知的・精神の障害のある方も対象に加え実施していく。また、非常勤職員の今年度の採用試験も準備しているところである。

## 森林環境譲与税について

我が国の長年にわたる林業の衰退の背景には、主なものに、薪炭、まきや炭から石油へのエネルギー需要の変化、そして国外産材との圧倒的な価格差がありました。そして、林業の衰退は森林の荒廃へとつながり、さらに、森林の荒廃は災害の多発や大型化、熊やイノシシの里山やまちなかでの出没につながっているものと思われます。言い方を

変えると、経済価値のみを優先し、水の涵養や生物多様性、広葉樹・針葉樹のバランス、奥山と里山の役割の明確化など、本来森林が持つ機能や人々の暮らしを支える役割について軽視してきたことへのしっぺ返しと言えるのではないかと考えられます。この森林環境譲与税は、今課題として挙げた経済的に成り立たない森林の放置をとめることを1つの大きな役割としています。広葉樹の植林推進、県との連携、中央都市圏との連携、皆伐のプランニング等について質問しました。

〔市長の答弁〕  
本年度からスタートする新しい森林経営管理制度において、広葉樹の植林について、今後研究していく。本市では、県内の他市町に先駆け、本制度を市全域に広めるための課題を把握するため、モデル地区事業を実施するため、県ともしっかりと連携していく。石川中央都市圏の市町とも、どのような形で協力や連携ができるか情報交換を行っていく。皆伐については、森林経営管理制度において、その地域に応じた効果的な集積計画を策定する中において研究していきたい。



## 市内小中学校の日本語指導教室について

金沢大学が文科省の事業、スーパーグローバル大学創成支援事業の一環として、令和5年度までに留学生を現在の4倍にする計画があります。このままでは、ボランティアが支えるまちの日本語教室だけでは対応が厳しくなる恐れがあります。そこで、泉小学校日本語指導教室に加え、金沢大学周辺の小学校に、市内第2の日本語指導教室を開設すべきではないか、と質問しました。

→平成2年度から、杜の里小に常時1名、週2回の指導教員が1名配置されることが3月議会で決まりました!

〔教育長の答弁〕  
現在、杜の里小学校を中心に、日本語指導を必要とする外国人児童が増加している。泉小学校日本語指導教室の教員1名が週2回、杜の里小に向向いて指導しているが、金沢大学と、留学生の実態と対応について協議をさせていただきたい。

## 百万石踊流しの際のトイレについて

現在、百万石通りでいくつかの商業施設にトイレをご提供いただいておりますが、踊り流しの参加者から、とにかくトイレが足りないとの声を頂いております。他に借りることができる商業施設はないのか、また、金沢マラソンのときのように、公園に仮設トイレを設置してはどうか、と質問しました。

〔副市長の答弁〕  
他の商業施設に新たに協力を呼びかけたい。仮設トイレについては、実行委員会の中でご意見を伺いながら、必要に応じて検討してまいります。



## 不登校(ひきこもり)支援について

人間の身体は栄養によって成長するが、心は人との触れ合いによってしか成長しないと聞く。文部科学省は、来年度概算予算要求で、経済的に恵まれない不登校児童・生徒のフリースクール等への交通費補助を打ち出したが、金沢市もそれに呼応すべく、市内バスのフリーパスを支給することで、居場所づくりと人との触れ合いに役立つのではないですか、と質問しました。

〔教育長の答弁〕  
人と触れ合うことは、不登校児童・生徒が社会的自立や学校復帰を図る上で大切なことと考えており、教育プラザの適応指導教室で人との関わりの支援や学習支援を行っている。市内バスのフリーパス等の経済的支援については、今後の研究課題としたい。

## 部活動以外の活動の表彰について

先日、金沢市内の中学生4名、羽咋市の中学生1名を含む社会人女子クラブ野球チームダラーズが全国大会で優勝し、生徒たちが通う各中学校で表彰され、生徒たち、関係者が大喜びされたとお聞きしました。運動系、文化系問わず、学外の活動でも、積極的に表彰されることによって児童生徒の自己肯定感が更に高まると思われます。積極的に表彰していく体制をつくることについて質問しました。

## ◎9月議会のその他の質問

まちづくりのコンプライアンスについて／日銀跡地の利用について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。

## ◎6月議会のその他の質問

ごみ処理施策について／教員の長時間労働について

詳細は、市議会議事録HPを御覧ください。